

## 第9回議会報告会会議録（要約）

平成28年2月6日（土）午後7時開会  
新町研修センター

◎開会あいさつ 長谷川勝己（班長）

司会 桑村繁則

参加者2名と少数のため参加者と協議のうで意見交換の場とし、フリートークにて意見交換とした。

【問】東条文化会館のNPO法人の代表理事と理事の名前を教えてください。

【答】代表は東条の釣り針会社で、五洋産業社長の土肥富幸氏、副は前川公生氏である。

【問】とどろき荘の指定管理者制度は出来レースではないか。とどろき荘を改修してその後指定管理者制度により募集するとなっているがどうか。

【答】一部を改修し、2年間は今のままで社会福祉協議会が指定管理を受け新しくなった時点で指定管理を募集することとなっている。

【問】小中一貫校のことでテレビで説明していたが、別名義務教育校とも云って各市町村の判断に委ねる。教育内容も各市町村に委ねることになり、教育現場が混乱したり先生が委縮したりすることはなく、もっと自由な教育が出来ることを解りやすく説明していたが、加東市ももっと解りやすい説明が有ればと思った。そうすれば小中一貫校をすることに疑問は無かったのじゃないかと思った。

もう一点、入札は公平に行われているのかを議会で調べてほしい。出来るだけ公平な行政を行ってほしい。以上は要望としておく。

【答】小中一貫校については今後、準備委員会が設立され、PTAの方など各方面の方に委員になって頂き議論していく事になっているので理解願いたい。

議会も公共施設特別委員会であちらこちら視察に行き、又個人的にも視察に行ったが職員室が分離型じゃなく一体型の方が、小学校の先生も中学校の先生も同じ場所で一人の子を9年間を通して見守っていく形を取っていた所が多かった。

【問】とどろき荘の施設長が副市長の時に、これは福祉のための施設だから赤字でも仕方ないと言ったとか、経営努力がない。民活を取り入れることはできないか。

【答】民間にも募集しているが説明は聞きに来た事業者はあるが、結果的に参

加しないというのが現実だ。

市の方針は、温泉浴槽1つ、サウナ1つ、水風呂1つに改修する方向を打ち出しているが意見はさまざまであるが市の方針である。

議会としては、色々な意見を述べ提案はしているが民主主義なので、賛否の結果である。

【問】東条文化会館は3年間の指定管理になっているが運営が大変だと思うのだが、3年たてば取り壊す前提なのではないか。

【答】市は3年間の指定管理の運営状況を見てその後、又、決めて行くとのことだ。音楽専用ホール的な物なので音楽関係の催しになると思う。座席数も550強と限られているので運営は可なり厳しいと思う。

【問】議会報告会が9回となっているが本年が9回ということか。

【答】市民の負託に応えるとか開かれた議会づくりをしていくために、平成22年11月に議会基本条例を制定した。年に1回以上の議会報告会を行うと明記をしている。それから年に2回程度開催している。2回といっても会場は1回に複数会場で開催している。

【問】議会だよりや全戸配布と情報発信しながら参加者が少ないのが余りにも寂しいのが実感だ。

【答】報告会が終わるたび反省会を行い、今後の報告会の在り方については議論している。

【問】条例は法律と同じ位の拘束力があると聞いている。加東市では“日本酒で乾杯”という条例があるが日本酒で乾杯しなくても何も咎められない。意味あるのか。

【答】地場産業の振興的な意味である。条例には罰則規定を設けているものもある。市民生活に密着する、例えば税条例とか福祉関係の条例などがあるが、全てその上位法を守って作らなければならない仕組みになっている。

【問】滝野地域の区長会の中で、小中一貫校の説明を教育委員会関連より説明を聞いた。教育というのは、より良い方向に試行錯誤しながら一生懸命取り組んでいくのが教育と考えている。今も小中で情報交換をやっているが、小学校の先生と中学校の先生が同じ部屋で情報交換、議論をされることは重要な取り組みと感じている。加東の教育がより良い方向に頑張ってもらいたい。

加東市の良さをアピールすることが大事である。住みよさランキングが広報の8月号に載っていた。全国に名を轟かせている芦屋の次に2位、安心安全では10位だった。このように自慢の出来る元気の出る話を、いっぱい情報発信してもらいたい。

【答】確かにアピールの仕方が下手であると意見は言っている。この少子高齢

化の中、近隣が人口減少している中で、加東市は4万人前後で維持をしていることもあり、加東市の自慢できる部分を我々もPRしていきたい。加東市には東西南北へ行く道路があり、軌道があり、3地域に工業団地もあり、酒米山田錦もあり、観光地もあり、アピールすることが多くあり今後情報発信をしていくように我々も務め、理事者にも提言していきたい。

【問】 農業政策だが、高齢化が進み耕作放棄地が増えてきている。先般西脇の市役所から利用権設定通知書が届いた。これは、確か“みどり公社”だったと思うが、この会社は耕作放棄地を利用することになっている。加西の鶉野飛行場跡に大規模なトマトハウスが出来ているが、この会社に関連しているらしい。加東市でもこのような農業事業法人を立ち上げることも考えてはどうか。

【答】 営農組合の推進もやっていたが中々設立が困難なようである。

【問】 太陽光が多く作られているが、トラブルはないのか。

【答】 大規模になると、大きなトランスから音や、反射光もあり、所によってはトラブっている。排水の問題、農業用水路に入る等の問題もあるようだ。

【問】 太陽光発電の規制の条例も出来てるようだが、加東市議会では検討していないのか。

【答】 太陽光の条例は制定していない。先ほどの質問に、小中一貫校の事が出ているが順序としては最初教育委員会、市が回ったが説明不足と意見があり、教育研究会が出来、その後地域も議論していくべきだと地域推進協議会が出来、この協議会がPTAとか区長さんや各年代層の方の意見をまとめ、再度研究会にて議論し、それを教育委員会に報告し、3月一杯で方向を出す。教育委員会で決定し、その後は各地域で準備委員会にて細部は協議し、開校に向かうこととなっている。

【問】 インテリ層が難しい言葉を使って討論しているが、池上彰が説明しているのは凄く解りやすい。そんな説明がほしい。

【答】 2名の参加者であったが十分に前向きな意見が貰えたので参考にして、今後の議会報告会の在り方を検討していきたい。

閉会 午後7時55分